

2018年度 木曾青峰高校 定時制 学校関係者評価報告書

**評価** A:よい B:おおむねよい C:不十分

長野県木曾青峰高等学校 定時制

総合評価			学校評議員記入欄	
			評価	コメント
<p>5つの重点目標の実現に向け、各対象事項においてそれぞれ熱心な取り組みがみられ、安心・安全な環境づくりが実現している。定時制ならではの少人数教育の実践が可能な環境が十分にいかされ、生徒一人一人に丁寧に向き合う体制がとられた。今後、学校教育目標とする生徒の成長支援のために、職員間の連携方法等の改善をすすめ、各担当分掌の取り組みのさらなる充実をはかりたい。また、あらゆる事に対して、対応が遅れることのないよう、職員間の連携をより強くするとともに、学年間の足並みを揃え、統一した指導が出来るよう、担任間の連携もすすめたい。</p>			A	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方の熱意により生徒が成長していると感じる。</li> <li>多様な生徒が在籍しており学習指導や生活指導、進路指導など先生方の苦勞も多いかと思えます。学校教育と家庭教育と融合して、取り組みして頂くようお願いいたします。</li> <li>発達障害不登校等で学力的にも問題のある生徒が多いと思われるが先生方の指導に感謝です。</li> <li>5つの重点目標の実現に努め、生徒の成長につなげてほしい。</li> <li>一人の生徒を多くの目で見守り、連携を達説にするという方向はよいと思えます。</li> </ul>
成果と課題	評価	改善策・向上策	学校評議員記入欄	
			評価	コメント
<p><b>重点目標① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。</b>  <b>【成果と課題】</b> 定時制全体が落ち着いた雰囲気、問題行動のない学校生活を送っている。職員対象の非違行為防止研修会により、体罰防止の意識も定着している。また生徒が安全に下校できるため、気象や交通の情報を把握し対応できた。緊急時の対応や役割などシミュレーションを行い、不測の事態に備えるよう研修会を行った。                      コミュニケーション不足等による生徒間のトラブルが見られた際には、外部の専門家の協力を得ながら対応したが、今後も継続的な指導が必要である。また、スマートフォンの使用によるトラブル防止指導も継続的に取り組みたい。</p>	B	<p>落ち着いた学校生活環境が醸成されており、今後も継続したい。また、さらなる研修会や学習会などにより、コミュニケーション能力の向上や社会性の定着を目指したい。</p> <p>生徒のささいな変化にも気づけるよう、全職員が常に意識し、どんな小さな事に対しても情報共有を徹底したい。</p> <p>不測の事態・重大な気象状況（台風、大雪等）の場合は、今後もあらかじめ適切な対応策がとれるようにしておく必要がある。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題行動のない落ち着いた学校生活を送られているようでありがたく思えます。何よりです。</li> <li>少人数教育によるきめ細やかな教育と指導を行っていただくように今後に期待します。</li> <li>個々に対応が難しい生徒もいるけれど、あたたかく見守っていただけました。</li> </ul>

<p><b>重点目標② 学習・生徒指導の両面から生徒一人ひとりを大切に教育活動を推進し、社会に出てからも通用するような生きる力と豊かな感性をはぐくむ。</b></p> <p>【成果と課題】 習熟度別授業や補習を実施した。また面接等を通じて、生活面や学習面に対し、丁寧に生徒の相談に乗ることができた。</p> <p>学校での学習が、アルバイト等で得た社会での生きる力を補完するものとなると良い。</p>	<p>B</p>	<p>学習面、生活面ともに、全員が丸となって、生徒一人ひとりに対し、生徒の潜在能力を引き出すため、さらに根気強く指導を続けたい。</p> <p>相手の気持ちや、周りの状況を理解する力が不足している生徒に対して、適切な時に、適切な場で指導する必要がある。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭の折には定時制生徒の喫茶室に立ち寄っていますが、生徒たちの対応の良さが感じられます。</li> <li>・社会に適合していける教育は、なかなか難しいところですが、まずは前向きに考えられる生徒指導を</li> <li>・個々を大切にしている。</li> <li>・事故有用感や達成感の体験が十分でない生徒も多いと思います。自分らしさに自信が持てるよう、よろしくお祈りします。</li> </ul>
<p><b>重点目標③ 生徒が希望する進路を実現するための基礎的な学力及びコミュニケーション能力を育み、社会的適応力を高める。</b></p> <p>【成果と課題】 様々な外部講師による講習会を実施したことにより、生徒自身普段と異なる刺激を受けることができ、生活態度の向上、社会への意識向上がみられた。コミュニケーション能力やマナー等については、生徒ごとに差が大きく、適応力が身につけにくい生徒の能力向上のための指導は難しい現状もある。</p>	<p>B</p>	<p>ソーシャルスキルトレーニングを定期的に行い、各授業内でも関連させることができれば理想的である。また積極的に取り入れることで、外部の方々との深い関係作りを目指していく。</p> <p>アルバイトを通して学んでいることも大きいので、それを生徒と職員で共有し、指導に活かしたい。</p> <p>今後も様々な講習会や講演会を計画し生徒に自己の在り方や生き方について刺激と情報を与えていきたい。</p>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アルバイトにより、様々な人に出会い、本人たちの社会性が高まっていると思われる。</li> <li>・進路については理想的には、中学の段階で方向を決めて、学校や、科を選択して入学すればよいと思いますが、難しいですね。</li> <li>・社会的適応力を高めていくためのソーシャルスキルトレーニングは極めて重要と考えます。外部講師とのコミュニケーションを積極的に推進してほしい。</li> <li>・自立・自律を目指し、一層力を入れていただきたいところである。</li> <li>・積極的に地域の関係機関と情報交換をし、生徒個々について把握して頂いている。卒業後家居に向かわないように、社会とつながる力を今後も伸ばしてください。</li> </ul>
<p><b>重点目標④ さまざまな活動を通し、地域との連携と開かれた学校づくりを推進する。</b></p> <p>【成果と課題】 定時制PTAや説明会等において、同時に授業公開を実施した。また、地域の保健師や支援員などとの意見交換の場を持てた。ただ、今年度は台風の影響で、校内生活体験発表会を実施できなかった。例年外部からも多くの方に参加していただいているので、次年度以降も継続したい。</p> <p>定時制振興会長、木曾町教育委員会のご協力の下、イルミネーションの展示ができ、地域連携の一步が踏み出せた。時間的な制約もあるが、地域において、定時制として生徒も取り組める活動があれば良い。</p>	<p>B</p>	<p>地域の保健師や支援員との交流により、生徒へ多面的な指導ができるようになっていたので今後も継続していきたい。さらに地域の方々に応援・サポートされる環境づくりを模索していきたい。</p> <p>様々な活動を体験させるため、定時制や生徒会として、地域に貢献する活動、行事に積極的に参加できるよう働きかけたい。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒達の達成感、喜びが何といても重要であり、自信につながるため今後も地域との連携できる取り組みを期待しています。</li> <li>・ボランティア活動、お年寄りや小さな子供達との交流など、様々な模索し特色として定着できればよいと思いますが。力強く進めて頂きたい重点目標です。</li> </ul>

<p><b>重点目標⑤ 「夢に挑戦する学び」への対応を進める。</b></p> <p>【成果と課題】 今年度初めて取り組んだ資格取得であるが、パソコン検定では、生徒全員が合格することができた。また、フォークリフトや小型車両の資格についても、他校の講習へ出向いて取得している。卒業後の進路や、自分に対する自信につながれば良いと感じている。今後も、何でもいいので興味・関心を持てるものがあれば、積極的に取り組み、挑戦して欲しい。自ら進んで意欲的に取り組む生徒が増えてくるように、継続的に取り組むことが必要である。</p>	A	<p>資格取得は今後も継続し、受験者の拡大を目指したいが、現状でどのような資格を取得できるか、把握しておく必要がある。また、資格取得以外の「学び」についての検討も必要である。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に出てマッチングしていく能力として、このような取り組みは、評価できます。</li> <li>・資格取得のチャンスありがたい。</li> </ul>
--	---	---	---	---

評価項目		評価	改善策・向上策	学校評議員記入欄	
				評価	コメント
学習指導	授業内容（補充授業を含む）の充実と出席率の向上	B	生徒の実態に応じた課題や教材の選定により、生徒の興味関心を引き、基礎学力の定着や出席率の向上をはかる。また、学習相談日を有効活用し補習などを実施する。 ALTを定時制にも採用し、英語の学習環境を作りたい。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標②にあるように、習熟度別授業や実態に応じた課題や教材等工夫した授業が行われていてよい。</li> <li>・英語教育については、積極的に授業カリキュラムを増やして行ってほしい。</li> <li>・ALTの件是非進めてほしいほしいです。</li> </ul>
	進路指導	進路目標の明確化と進路実現	B	学習の意義を見出せていない生徒もいるので、進路の明確化が必要である。1、2年時の早期から将来の進路への意識付けをする。個別指導の充実を図る。	B
	キャリア教育の推進	B	アルバイトは就労体験として、とても大切であるが、アルバイトだけに頼らず、その他のキャリア教育としての指導も必要である。（進路講話の実施、個別指導の充実など）	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表会でもアルバイトの体験が多く発表されますがすばらしいです。</li> <li>・アルバイト先での能力がどのくらい発揮されているとつかむことが重要と考える。</li> </ul>
自主活動	クラブ・生徒会活動等自主活動の活性化	B	「生徒が少ないからできない」が生徒の口実となっているが現人数で、できることを考えさせる指導も必要である。 生徒の声を大切にしながら指導内容を検討し、職員が生徒と共に企画・運営を行っていく。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒数により活動も制限されるかもしれませんが、生徒に寄り添いながら対応をお願いします。</li> <li>・生徒数の面で大変だと思いますが、この現状をプラスに生かす工夫ができるとよいのですが・・・。</li> <li>・文化祭に向けて早い段階から創作案を考え取り組んでほしい。</li> </ul>

	基本的社会性を持った人間の育成	B	チャイムと同時に授業開始を生徒・職員共に意識し、言葉遣いや正しい挨拶の指導を意識的に行う。また、職員が模範となるよう、挨拶や社会的マナーを職員側から実践していく。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方が生徒の模範となるよう実践する姿勢はとても大切だと思います。頑張ってください。</li> <li>社会生活の基本となる挨拶は変わらず教え込んでほしい。</li> <li>学校という公共の場でこそ身につくことなので今後も重点的に進めてほしい。</li> </ul>
生活指導	全職員による生徒の状況把握(情報の共有)	B	二つの職員室間の情報共有の工夫、担任会などの活用の強化、緊急時における会議等により、情報共有する機会を増やす必要がある。さらに全職員で生徒一人一人の特性、課題、接し方等を、密に共有することにより、役割を分担しながら全職員で問題に対応していく。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>先生方全員が生徒を知り、一丸となって指導に当たる姿勢、これも大切ですね。よろしくお願ひします。</li> <li>共有する大切さが職員間にあれば生徒に対するきめ細かい指導につながる。</li> </ul>
	相談体制の充実発展	A	アセスを用いた全職員による、全生徒への面談を年2回、定期的な担任面談を行っている。次年度以降も継続するべきである。	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>大切な取り組みをされていてありがたいです。</li> </ul>
	家庭・地域社会との連携	B	担任のみならず、職員全員が家庭・地域と連携する意識・機会を増やせると良い。ソーシャルスキルトレーニングでのイルミネーションの活用などを通して、社会に対して目を向ける必要がある。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>青少年健全育成推進協議会など各町村の関係機関との連携の強化も考えられるとよいと思います。</li> <li>地域社会との連携により定時制の現状を理解する機会を多くもってほしい。</li> </ul>
学校運営	緊急時保護者への連絡体制の完備	B	緊急時の職員の連絡方法や生徒の安否確認方法、具体的な誘導などの動きや、必要な物品、書類などの共有が出来るように年度当初に周知徹底する。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>大切ですね。「命を守る」ことを最優先に。</li> </ul>
	学校ホームページ・パンフレットの充実	B	学校ホームページ・スクールマガジン等の定時制枠を拡充し、定時制課程の更新を月に1度はしたい。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>「スクールマガジン」が住民にも回覧されよいいと思います。定時制の記事がほとんどないですがどうでしょう。むずかしいですかね。</li> <li>必ずおこなってってください。</li> </ul>
	授業等の公開	B	個々の問い合わせに対応し、随時授業を公開してきたが、さらに教員間でも互いに見学し、授業内容の向上を目指す。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>大いに公開してもいいですね。ただ、先生や生徒の負担にならないようにしてください</li> <li>学校全体の職員が定時制生徒に対しての関わり合いを多くもってほしい。全日と定時の垣根を少しでも下げていける努力は、学校で取り組むことが重要と考える。</li> </ul>